

北海道在宅医療・介護連携推進セミナー

主催：北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道介護支援専門員協会

後援：北海道、札幌市、北海道医師会、札幌市医師会

2015年3月に「地域医療構想策定ガイドライン」が示されました。これは2025年に到来する超高齢社会に向けての医療介護提供体制の構築を目指すもので、二次医療圏などの地域の医療需要を推計し、各圏域で「地域医療構想調整会議」などが開催されています。

2025年に向けての病床の機能分化・連携を進めるための施策ではありますが、併せて「在宅医療の推進」「退院支援」などの連携体制の構築がその基盤となります。

そこで今回、北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道介護支援専門員協会の共催、北海道、札幌市、北海道医師会、札幌市医師会の後援にて、連携推進のためのセミナーを行います。

地域医療構想を進める上で「在宅医療の推進」「退院支援」などの連携体制の具体的課題とその構築に関する議論を行いたいと考えています。

日時：2016年1月23日(土)14:00～16:30 (受付 13:15～)

場所：北海道医師会館 8階会議室(札幌市中央区大通西6丁目)

参加：180名(定員になり次第、締切) 参加費：1,000円(当日受付にて、徴収)

対象：医療・介護の関係職種 (医師、退院調整看護師、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員 など)

内容：

・講演「地域医療構想とこれからの在宅医療・介護の提供体制」

北海道保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課 課長 大竹 雄二 氏

・シンポジウム「2025年の在宅医療・介護の具体的課題と戦略を考える」

北海道医師会 副会長 藤原 秀俊 氏

(在宅医療を担う医師対策と医師との連携)

北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長 関 建久 氏

(在宅医療を推進する退院支援の現状と課題)

北海道介護支援専門員協会 会長 村山 文彦 氏

(居宅介護支援を担う介護支援専門員の現状と課題)

備考：本研修会は日本医師会生涯教育制度 2.5 単位として算定できます。

(カリキュラムコード：7.医療制度と法律、9.医療情報、13.地域医療、14.医療と福祉の連携、80.在宅医療)

《お問合せ》北海道医療ソーシャルワーカー協会 医療福祉活動部 岡村 TEL011-853-8322(西岡病院)

《お申込み》北海道医療ソーシャルワーカー協会 事務所

FAX011-563-7229

※所定の参加申込書にて 2015年12月25日までお申込みください。

《北海道在宅医療介護連携推進セミナー 参加連絡》

北海道医療ソーシャルワーカー協会 事務所 行

Fax 011-563-7229

送信日 年 月 日

北海道在宅医療・介護連携推進セミナー

—2016年1月23日(土)開催—

参加申込書

所属機関名	職名	氏名
	連絡担当者()	()
所属機関住所 〒	TEL ()	FAX ()

No.	氏名	職 種 (役 職)	備 考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※ 記入漏れがないようにお願いします。

※ 本参加申込書は本セミナーの人数把握等で使用し、それ以外の目的では使用いたしません。